

一般社団法人 社会福祉経営全国会議

コロナ・実態・事例ニュース



2021年8月31日発行 (No.5) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

コロナによる現場の実態・事例を緊急募集！

さっそくお寄せいただいた声をご紹介します！

法人内の保育所で先週末職員の陽性が発覚し、保健所によるPCR検査を実施して、その日の夜9時に陰性と判明、うち一人が不明となり再検査(翌日)となって翌々日の昼すぎ陰性と判明したので、その翌日保育を再開しました。休園期間は金・土・日。このように保健所の機能が果たされている地域はよいのですが、医療崩壊を起こしている地域では保健所の機能も果たされなくなっています。それが保育現場の不安となっていると思います。濃厚接触者無視、感染者が出た保育園でも全職員のPCR検査もなしとは恐ろしい事態です。これでは子どもの命を守る保育園にはなれません。(広島・保育園)

子どもが濃厚接触者となった場合には2週間の自宅待機となります。その間の保育料は払戻されますが、保護者への対応は極めて難しいということです。理由を問われても保健所から濃厚接触者と言われたから。としか言えない点が辛かったということです。この間の保育料問題も地域間格差があります。(広島・保育園)

緊急事態宣言下の保育園は特別必要な保育を除いて休園にする措置を発信してほしいです。(広島・保育園)

赤枠：総合的な意見、情報

黄枠：現場で起きている問題

緑枠：職員や利用者等に与えている影響等

青枠：国や自治体への要望

●「コロナ感染爆発！今、福祉の現場で何が起きているのか！事例募集中！」
書き込みフォーム

<https://forms.gle/M44xvT4iMxVHujzDA>



コロナの検査に対する抵抗感がある職員。この間の行政指導の中で「検査すれば大変な人数になる」「社会的検査でも、受ければ子どもは学校休み、パートナーの会社へ報告」等。気持ちが重たくなるようだ。(宮城・保育/高齢)

コロナの感染状況の情報発信について、各自治体任せになっている。市は感染拡大防止の注意喚起や休園する場合の基準については連絡するものの、地域で起きている感染状況は個人情報にかかわるということで何も発信しません。この間、子どもへの感染の広がりについて、近隣の小学校や市内保育施設の休園など、保護者や他の保育園から聞いて知り、市の担当課に連絡確認するという状況でした。(宮城・保育園)



コロナ感染対応は国、自治体の責任という立場に立ち切ってほしい。施設でいつでも無料検査ができるようにしてほしい。不安定な職員体制を補充するための助成を行ってほしい。子どもたちへ安全なワクチン接種を行ってほしい。(宮城・保育/高齢)

保育園児の感染が続き、次々休園しています。法人立、公立で分かっているだけでも、17件です。園児ひとりの陽性者からクラスターになった園もあります。市役所職員も多く感染し、保育の指導課やネウボラからも出ています。(保育園)

●9/10 事前学習会・9/22 政府交渉ともにオンライン (zoom)

●開催日

●9/10 事前学習会：9月10日(金) 10:00~12:00
ワクチン接種の状況把握アンケートの結果報告、要望内容の説明と交渉に向けた意見交換

●9/22 政府交渉：9月22日(水) 13:00~15:00

厚労省各部署・内閣府
●要望書：「新型コロナウイルス感染症対策にかける緊急要望書」

申込フォーム

<https://forms.gle/4UqwSCLFndeE5VY97>

